**焼津市の大井川環境管理センター建設**

**10億高い業者の落札根拠示さず**

**藤枝市議会欧州海外視察は中止に**

10月1日に番号が通知されま

**この議案に私と杉田げんたろう焼津市議（日本共産党）以外は質疑すらせず賛成しました（採決に加わらない議長の焼津の松本議員を除く）税の使途をチェックするのが議員の一番の役割のはずです。それを放棄していると言わざるを得ません。**

法律生活相談会のお知らせ

**日本共産党議員団は、毎月、静岡法律事務所の弁護士の同席のもと無料法律生活相談を実施しています。**

**とき：毎月最終火曜日の午後6時から　場所：生涯学習センター**

**※10月16日から2か月間空調工事のため学習センターが閉鎖されます。9月は生涯学習センターで、10月は青島北交流センターで行います。　　　※特に予約制ではありませんが、ご一報いただければ助かります。**

**※志太広域議会に所属する**

**石井以外の藤枝市議会議員**

**薮崎ゆきひろ、西原あけみ、山根はじめ、**

**植田ひろあき（以上、藤新会）**

**岡村よしお（市民クラブ）大石やすゆき（公明党）小林かずひこ（志太創生会）**

**私の質疑に対し、クボタは地元企業を優先して下請けとする、盛り土対策など危機管理が優れている事など答えましたが、対する日立造船の提案がどうであるのか、その検証材料となる提案書はとうとう議会に示そうとしませんでした。これでは審議の前提部分を示さない事となり議会を愚弄するものです。　7月27日　志太広域議会議案質疑**

**税の使い道をチェックするのが議員の役割のはず**

**質疑すらせず賛成する他会派議員**

**建替予定の野鳥公園近くにある環境管理センター**

**（組合HPより）**

**工事に2社が入札。1社は日立造船グループで入札額78億余、もう１社はクボタ環境サービスで入札額は88億9千万です。結果は高額を示したクボタが落札。**

**契約は入札金額だけでなく、建設から管理運営面での提案内容も含めた点も審査され、総合的に判断する方式（DBO方式）で行われました。高額を示した業者の落札はありうるわけですが、一方で差額分10億以上優れた提案をクボタは行っていたことになります。（審査内容は地元企業への貢献、品質管理、危機管理、施設の長寿命化などが対象）**

**ところが、組合は議会に対し比較検討となる両社の提案書を示しませんでした。理由は、契約書の著作権は入札企業にある事、そして企業が提案書の提出を拒んでいるという事です。市民生活に欠かせないインフラ施設で高ければ一概にダメとは言えませんが、10億の差に対し納税者が納得できる説明をする責任が組合にあります。**

**焼津市の大井川河口に浄化槽汚泥と“し尿”を処理する環境管理センター建替工事が始まります。この契約審議が志太広域組合議会で行われました。（焼津市藤枝市各8名、合計16名の議員で構成される議会。両市で取り扱う消防、ゴミ処理、斎場、看護学校などを審議します。組合の管理者は中野焼津市長）**

**老朽化と処理能力向上のため現在のセンターを取り壊し新しい新環境管理センターを平成33年完成目標とし15年間運営するという内容です。**

